



山手地区ローバーの理念と目標

山手地区ローバーは山手地区の有志のローバースカウトが集い、日々ローバーリングについて思索を深め、スカウティング活動をしている組織です。

山手地区ローバーには以下の3つの目的があります。

1. ベーデン・パウエル卿の目指すローバーリングの実現
2. 所属する団及び原隊での活動、指導の場への還元
3. 山手地区のスカウティングの活性化

山手地区ローバーは奉仕の精神を元に、地区行事の企画・運営を積極的に行なっていきます。地区の同年代との仲間意識を深め、技術の向上や情報交換を通し、積極的に地区に貢献していくこと。個人では出来ないことを皆で協力し実施していくこと。より良き社会人を目指すこと。これらを達成するための高度な活動をしていきます。

目黒区ラリー 2012年10月28日

2012年の目黒区ラリーは山手地区ローバーで初めて企画と運営をさせていただきました。週に何回もメンバーで顔を合わせ、企画会議を行いました。当日は指導者として参加していたローバーもいましたが、事前の会議では積極的に意見を交換しました。ラリー当日は悪天候により、ショートプログラムでの実施となってしまいましたが、ベンチャーの助けもあり、ラリーを成功させることができました。最後にビーバー、カブのスカウトが笑顔で「楽しかった!」と言ってくれたのが強く印象に残っています。「地区のローバーでも出来る!」という自信を得ることができました。



第7回APRスカウトユースフォーラム

第24回APRスカウト会議 2012年11月

Bangladeshで行われたスカウトユースフォーラムに、目黒3団の早矢仕RSが青年代表として参加しました。ユースフォーラムで、アジアの国々のスカウトと意見を交わし、ローバーリング活性化について議論しました。また、2014年に行われる、韓国、台湾、日本、 Bangladeshの4カ国によるローバーの共同プロジェクトの調印式も同時に開催されました。世界のローバーリングを山手地区での活動にも活かしていきます!



2014年1月13日
発行:山手地区ローバー



CJK-B準備派遣 2013年2月

APRフォーラムでの調印式を受け、2014年実施予定の韓国、台湾、日本、バングラデシュの4カ国のローバープロジェクトの準備派遣に行ってきました。早矢仕RSは過去3回のバングラデシュでの啓発活動の経験を活かし、日本連盟の要請により、準備派遣に参加しました。

プロジェクト予定地を訪問し、現地の貧困層の人々やスカウトを通して、新しいプロジェクトの内容や在り方を模索しました。視察と会議により、プロジェクトは6カ年プロジェクトとして調印が行われました。

2014年2月に第1回のプロジェクトが行われ、山手地区からは目黒3団早矢仕RS、柳田RSが参加します。日本の代表として、バングラデシュの貧困層の人々に新しいライフスタイルの提案を行ってきます。



第16回日本ジャンボリー 2013年7月31日～8月9日

2013年8月、4年に1度のボーイスカウトの大イベント、第16回日本ジャンボリー（以下、16NJ）が山口県きらら浜で開催されました。山手地区からも多くの人々が参加をし、大きく盛り上がりました。山手地区のローバースカウトは派遣隊指導者として、ISTなど様々な場面で活躍しました。

（ローバー感想）

目黒3団 早矢仕晃章

私は13NJをスカウトのときに経験し、15NJを副長、このジャンボリーでは派遣隊長を務めさせていただきました。派遣隊については、派遣隊指導者は平均年齢21歳と、全国的にも若いリーダーで構成されました。全部で3回の事前準備訓練と2泊3日の訓練キャンプを経て7月31日に36名のスカウトとともにジャンボリーに参加しました。ジャンボリー開場は毎日がお祭りそのもの！スカウトたちも大いに楽しんでくれました。私がバングラデシュプロジェクトなど、過去のローバー活動で知り合ったスカウト仲間も指導者として参加しており、彼らもスカウトを連れて山手地区のサブキャンプ「イーグル」に訪ねてきてくれました。交流会なども実施し、ローバーとしての活動と指導者としての活動がリンクした嬉しい瞬間を味わいました。

カンカン照りの中、スカウトも指導者も本当に楽しく活動できたと感じています。途中、ゲリラ豪雨でサイトが大変な状態になるというハプニングもありましたが、あの出来事はより一層、山手地区のスカウトたちの結束を強めたと思います。ボーイスカウト活動でもっとも素晴らしいのは、このつながりなのではないか、と最近考えるようになりました。同じ時間を、同じ場所で、この仲間と過ごした、という思い出は一生ものです。スカウトたちにはこのつながりの大切さを学んでもらえたと考えています。私はこのジャンボリーでスカウトたちに多くのことを教えたのですが、彼らから学ばせてもらったことも数多くあります。このジャンボリーの経験は私を成長させてくれました。本当に、ありがとうございました。



第16回日本ジャンボリー 2013年7月31日～8月9日

(ローバー感想)

渋谷6団 佐藤直紀

16NJにはISTの場外プログラム部として参加させて頂きました。前回の15NJでも場外プロで参加したので、今回もそこでいいやと。15の場外プロは中々面白いところだったので。さて、場外プロですが文字通り場外で行われるプログラムを担当する部署です。私は日替わりで別のところを担当することになり、初日にクライミングの手伝い、2日目に広島原爆ドームに行き、3日目と4日目は地域社会奉仕のプログラムで和木町(岩国と広島の間)と下関市に行きました。ただ…あんまり覚えてないかったり…。自分の仕事はあんまり意味がなかったんじゃないかな…。特に印象に残らない部署で…。でも大きなイベントにはこういった人たちも居ないと成功しないのですが。

ただ、16NJは最高に楽しかった!!

やはりVSやRSで参加する醍醐味は数多くの出会いがあること。プログラム時間以外は完全にフリーだったので、同じテントの人とか、同じ部署の人とか、その辺にいた人とか、かなり友達増えました。ジャンボリーの友情は永遠です!!

とこんな感じのくだらない経験談しかありませんが…。東京9隊のリーダーたちには申し訳ない…。

なんてこといいながら、今度15NJの友達と会ってきます!! これだからやめられないですね!! 16NJの友達とも春ぐらいに会えたらいいのですが。23WSJ,自分はM2で就活も修論もあるけれど、なんとか参加できないかと画策中です。



(ローバー感想)

目黒15団 渡邊彩乃

「隊長を胴上げするぞ!」そんなスカウトの声。

報告会の最後に、今回の派遣隊隊長である、ローバー隊スカウトが胴上げされた。

7月31日～8月8日の9日間日本ジャンボリーに指導者としてローバー3名が、IST(本部要員)にローバー4名が参加した。今回の参加隊の中でもっとも指導者の平均年齢が若い隊ということで保護者の方の不安の声を説明会時に聞いた。年齢が低いということ「経験が無い」という側面で受けるか、「スカウトに近い立場で接することができる」という側面で受けるか。

今回はスカウトと非常に近い立場で接することを心掛けた。毎晩行われた班長会議では、班長からの要望をくみ取り、お互いが納得する形で問題を解決できるようお互いが納得できるように深夜まで話し合いが行われた。このようにスカウトに近い立場で指導者が寄り添い、スカウトと指導者が連携して改善を行っていくような隊の形は今までの派遣隊では決して多くなかったのではないだろうか。8月4日、未曾有のスコールに見舞われてテントが数個浸水したり大破したりと、非常に波乱の日もあったが、その困難を乗り越えることに楽しみを見つけ、常に笑顔を決やさないスカウトに指導者一同救われたこともあった。ジャンボリー大集会で他の隊と肩を組む様子や、売店で満喫している様子、プログラムから帰ってきたスカウトの笑顔、その1つ1つがとても嬉しかった。「今回の日本ジャンボリーは、とっても楽しかった。次は世界ジャンボリーに行きたい」報告会でそう感想を締めくくったスカウトがいる。



今回の経験が1人のスカウトを、そしてそのスカウトが所属する隊を、地区を、少しでも変えられたのではないか。指導者、ISTとして参加したローバー隊の中には13、14、15回日本ジャンボリーにスカウトとして参加した者もいる。このように、過去日本ジャンボリーに参加したスカウトが、このように運営側に携わることにより、このスカウト運動が継続的なものとなるようにローバー隊で積極的な支援を行っていきたい。

第16回日本ジャンボリー 2013年7月31日～8月9日

(ローバー感想)

目黒15団 林希一

【かけがいのない9日間を過ごして】

今でもこの大会を振り返ると、忘れることのできない思い出ばかりが鮮明によみがえってくる。2013年3月17日に東京9隊が結隊され、ここからすべてが始まった。私は、東京9隊の副長に任命され生まれて初めて今大会に参加することになった。最初は、ジャンボリーのことがよくわからず不安もあったが、楽しみたいという気持ちで大会に臨んだ。大会前までに、月1回事前集会を行い、36名のメンバーとの交流を深めた。それから、4ヶ月後の7月31日ついに、大会が始まった。会場は、山口県のきらら浜。8月ということもあり、毎日35℃を超える猛暑の中での大会だった。大会2日目に開会式が行われ、ここから東京9隊のエンジンがかかった。大会中日にあたった日曜日の午後、突然のゲリラ豪雨に覆われた。サイトも大ダメージを食らった。しかし、復旧作業を全員が夜通しで行ったことが逆に皆の結束力を高めた。テンションも最高潮の中、参加した閉会式。皆で、ジャンボリーソング等を歌い、大いに盛り上がった。そして、あっという間に最終日が来た。会場を去ったときは、たくさんの思い出と裏腹に寂しさを感じた。夕方、東京に到着し、解散したあとでも思い出を共感しているスカウトが多く、とても感動した。おそらく、皆最高な9日間であったのだと感じた。そして、1ヶ月後の9月22日、東京9隊の解隊式が行われ、最高の形で幕を閉じた。

私は、この大会を通して改めて感じたことは、感謝の心である。この大会では、全国でボーイスカウト活動をしている仲間と、同じ会場で9日間を過ごした。なぜなら、同じボーイスカウトの活動仲間がいなかったら、このような大会にはなっていなかったからだ。

最後に最高の9日間を過ごした、東京9隊のメンバーに思い出に残る9日間を過ごせたことに、ありがたいの意を伝えたい。

平成25年度ユースフォーラム 2013年9月21日～23日

富士山麓山の村にて、全国の代表のローバーが集い、ローバースカウトの意思決定のためのプランニングを行う会合が開かれました。山手地区からは、東京の代表として、目黒15団の松尾佐紀さんが参加しました。

全国から集うローバーは様々な活動を経験しています。各県や地域に特化したローバーリングおよび指導者としての指導を行っていることを知ることができました。本フォーラムのテーマは「ローバースカウト年代の活動の強化と必要な支援について」です。2012年に設立された全国ローバースカウト会議(RCJ)との協働により、全国レベルでローバー活動を活性化させ、自団、地区、自県連での実践を目指す方法について、2泊3日生活を共にしながら、熱い議論が繰り広げられました。

このフォーラムの内容は、後日地区ローバーの会議にて、山手地区ローバー内で共有され、今後の地区のローバーリングに活かす方法について議論がなされました。



目黒区ラリー 2013年11月10日

2012年のラリーに続き、2013年の目黒区ラリーも山手地区ローバーにて企画と運営をさせていただきました。前回の反省を活かし、よりシンプルに、より効果的にスカウトたちに楽しんでもらえるようなプログラム立案を心掛けました。ラリー当日は、念願の晴れ！大岡山小学校の校庭に、スカウトたちの力強い声が響き渡りました。

(ローバー感想)

渋谷6団 佐藤直紀

去年に引き続きRSで担当することとなった目黒区ラリーですが…。昨年は準備不足、経験不足、更には残念なことに天候にも恵まれず、自分自身の中では苦い経験となっていました。正直なところ、リベンジしたいという気持ちもありましたが、今年も担当するのは「絶対にイヤだ!!」という方が大きかったかもしれません…。実際に今年も担当すると決まった際も気が重くて…。またアレをやるのか…と。まあ、無理だろうと。そんなわけで、今年も担当させて頂いた今年の地区ラリーのコンセプトですが、キャンプをモチーフにしたゲームをスカウトに体験してもらい、親しみを持ってもらう、というものです。これは昨年度のものとは変わっていません。昨年のリベンジという意味合いもありましたし、何より我ながらこのコンセプトにはセンスがある!!…なんて思っていましたから。また、今年の夏に16NJが開催されたことも踏まえて、何処かにジャンボリーにまつわるプログラムがあってもいいなということも考えていました。BVSやCSにとってこの場をBSを続けていくモチベーションを高める場にしたというのが自分の中の目的なので、彼らが今後、上進してどういった活動をしていくか、ということのイメージを具体化させることが一つの方法だと考えたのでこのテーマを設定しました。

(ローバー感想)

目黒15団 渡邊彩乃

去年に引き続き山手地区ローバー隊が目黒地区ラリーの運営を行った。

去年は初運営ということにあり、非常に子どもにとって難解なルールで子どもやスカウトに混乱を招いてしまった等多くの反省点が見受けられたが、今回はその反省点を生かして去年の企画を修正するという形で去年企画運営者RSを中心に企画を行った。当日は去年とは打って変わって非常に天候に恵まれた中、目黒地区、渋谷地区の多くのスカウトを迎えて企画を行うことができた。

海外派遣や国内派遣があるボーイ隊はまだしも、カブ隊やビーバー隊のスカウトにとっては他の隊のスカウトと関われる数少ない機会である。ビーバー隊はパン食い競争を模した「朝食ゲーム」カブ隊は借り物競争を模した「備品整理ゲーム」やだるまさんが転んだを模した「就寝ゲーム」等、ローバー隊が考案した非常に個性的なゲームを楽しんでいた。

隊によってスカウトの人数は違っても、自分の持つスカウトスキルを発揮して他の隊と切磋琢磨する様子は非常に1人1人のスカウトに刺激となっていることが伺えた。

結果発表時に自分の隊がよばれた瞬間のスカウトのいきいきとした、誇らしげな表情と歓声は今でも非常に印象強く残っている。

他の隊と競うことの楽しさ、交流する喜びを今回のラリーで知ったスカウトが数年後の世界ジャンボリーや日本ジャンボリー、他多くの派遣に積極的に参加してくれることを強く望む。

そして、若いスカウトの心に「ローバー隊のお兄さんお姉さんってかっこいい!!」と印象が残り、数年後、企画運営をする側に携わるスカウトが出ることを願っている。



ローバー100kmハイク 2013年11月16日～17日

(ローバー感想)

渋谷6団 佐藤直紀

11月の半ば…毎年恒例のRSのイベントと言えば…100kmハイクです!! お陰様で今年も完歩することが出来ました。ただ100km歩くだけですが、それをどう思うかは人次第。絶対に行きたくない!! と豪語する人もちらほら…。自分はわりと好きですけどね。これをネタに何か書いてと言われて1週間、特に書くことない…。完歩してどう感じたとか書いて欲しいんだろうな…っていうのはわかるのですが、完歩しても疲れて何も感じません。あっ、終わったんだ、眠い、腹減ったぐらいなものです。2回完歩しましたが、2回ともそうでした。感慨深いものがあるなんてことは…残念ながらないです。これでおしまい。



…というわけにはいかないのです。

今回の100ハイですが、20時間を切り、かつ全体20位以内に入ることを一つの目標にしていました。完歩自体はそれほどたいした事ではないので、前回届かなかった20時間以内には完歩したいなど。ちなみに、前は21時間6分でした。残念ながら8分届きませんでした…。これは来年以降に持ち越しですね。トレーニングして走るか!! …なんて。さて、今年の100ハイは山手地区始まって以来の快挙(たぶん)といったら大袈裟ですが、初めて地区内で複数人の完歩者(3人)が出ました!! 今年の完歩率は5割弱なので、割合的にはこれでもまだまだ少ないのですが、来年は期待出来そうです。勿論、自分も参加します!!

(ローバー感想)

目黒15団 林希一

【リベンジを果たした100キロハイク】

私は、11月16日から17日にかけて開催された、東京連盟主催の第47回ローバースカウト100キロハイクに参加してきました。今回は、前の大会を30Km代でリタイアという不甲斐無い結果で終わってしまったため、この屈辱を晴らすために大会に挑みました。今年は、快晴に恵まれ、序盤から飛ばす勢いで歩き、結果20時間8分で歩き切ることができました。

最後に、協力して下さった団の方々や地区の方々には、深くお礼を申し上げます。ありがとうございました。



大島災害奉仕 2013年11月2日～3日

2013年10月16日の台風26号により、伊豆大島に土砂崩れなどの大きな被害が出ました。そこで、目黒15団のローバースカウト及び団の方々が義援金を募り、11月1日～2日で支援に行きました。目黒15団では、その夏に大島でキャンプをやっていたこともあり、現地でお世話になった方々の安否も確認してきました。山手地区ローバー有志も義援金に協力しました。大島RSメンバーとともに、目黒15団から、松尾佐紀RS、林希一RS、塩川莉菜子RSが参加し、東京連盟大島1団原田隊長通じて義捐金とジャンボリーTシャツを手渡しました。36人が亡くなった現場も訪れて慰霊をしましたが、原田BS隊長からは今後、高齢者が非常に多い大島では、大島1団のスカウトの役割と被災高齢者に対する癒しの傾聴が必要とのことでした。

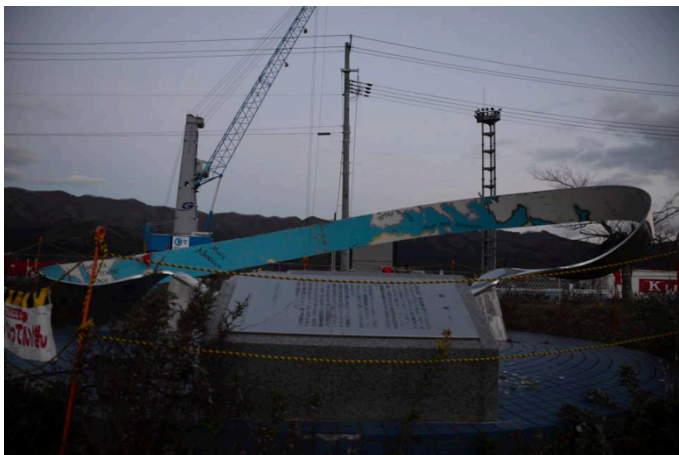
ローバーとしては音楽会等の企画含め再訪したく思います。

現在ではニュースで取り上げられることが少なくなりましたが、今後も継続的な支援が必要であることは間違いありません。山手地区ローバーでも今後支援のやり方についても議論を進めていきます。



東日本大震災支援・大船渡視察 2013年11月30日～12月1日

2011年3月11日に起こった大地震により、東日本大震災という、未曾有の大災害が日本を襲いました。あれから約3年の月日が経とうとしています。今回は山手地区目黒3団の古山VS隊長の繋がりから、東北の被災地を視察を行いました。山手地区ローバーとして、渋谷14団の巻田RS、目黒3団の早矢仕RSが参加しました。現地の方からのヒアリングと交流を通して、ローバーとしての支援の可能性を模索しました。



震災から3年。瓦礫の撤去や新しい街づくりは進み、人手の支援を必要とするフェーズは概ね終了してきたようです。現地の方は「とにかく東北に遊びにきてほしい。これが私たちにとって一番の喜びだ」とおっしゃいました。ボーイスカウトとして、ローバースカウトとして東北をメインにした訪問プログラム、現地の方々との交流などの新しい支援のやり方について検討していきたいと考えています。

北多摩地区海外派遣等報告会 2013年12月7日

東京連盟北多摩地区ローバースのキャプテンから、海外派遣報告会の登壇をお願いされ、早矢仕RSがバングラデシュでのプロジェクトやAPRのユースフォーラムの報告、2014年2月に開催予定のCJKバングラデシュ派遣についての展望についてスピーチを行いました。その他には、慶應ローバーとしてネパールでプロジェクトを行った報告や、過去のCJKプロジェクトの報告もありました。山手地区ローバーからは佐藤RSが聴講に駆けつけてくれました。

報告会のあとは、海外派遣経験者によるパネルディスカッションが行われました。個々人の経験を元に、ボーイスカウトで海外に行くことの意味について意見を述べ合ったり、ローバーリングの可能性についてディスカッションを行いました。

ローバーになると活動が非常に高度になります。地域の枠を越えて、自身の経験できないような活動について聞き、意見交換を行えるのがローバーの魅力の一つであると感じました。



新規メンバー募集!!

山手地区ローバーでは新規メンバーを募集しています。経験やスキルは問いません。やる気さえあれば問題ありません。一緒に山手地区のローバーの活動を盛り上げていきましょう!!楽しいイベントも色々企画していくのでぜひご参加ください!!



Yamamoto Rovers
since 2011